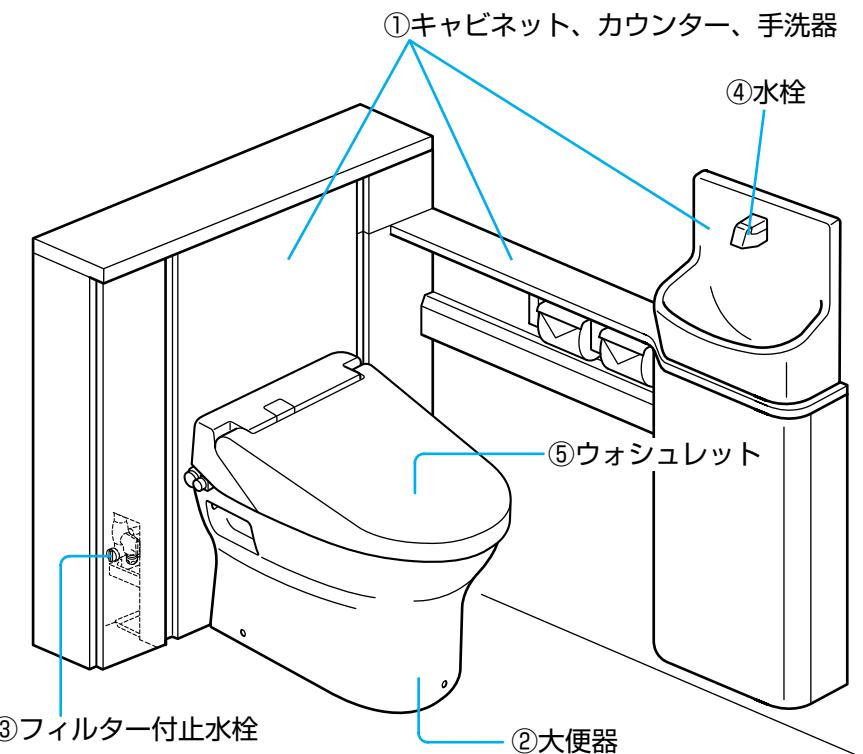


6 お手入れの しかた

いつまでも快適にご
使用いただくために、
定期的にお手入れを
してください。



① キャビネット、カウンター、手洗器のお手入れ

ご注意ください！

手洗器のお手入れをするときは、酸性・
アルカリ性の洗剤や薬品類は流さない

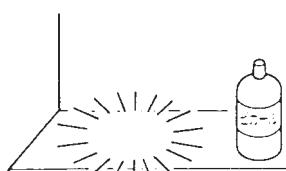
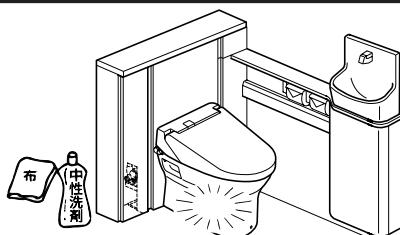
- タンク内の樹脂部材や手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 手洗器表面を浸し、割れてけがをする原因になります。



カウンター、キャビネットのお手入れをするときは、適量にうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

〔塩酸、強アルカリ性薬品、トイレ・バス用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなど〕

- 表面に傷がついたり、変色や変質の原因になります。



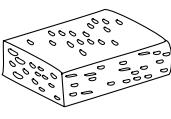
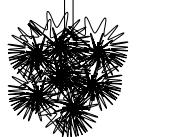
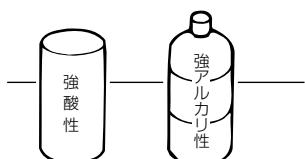
柔らかい布かスポンジに石けん又は、台所用洗剤（中性）をつけて拭いてください。その後もう一度水ぶきしてから、乾いた布で水分をきれいにふき取ってください。

手洗器、カウンターは、艶出しワックス（ピカールなど）を布につけてみがくと一層光沢が得られます。

② 大便器のお手入れ

- 便器用洗剤がキャビネット、カウンター、手洗器、ウォシュレット、すっきりパネル（壁排水タイプのみ）に付着しないようご注意ください。

ご注意ください！



金属ブラシ

研磨入り
ナイロンたわし

強酸性・強アルカリ性、研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。

金属ブラシや研磨剤入りナイロンたわしなどの硬い清掃用具は表面を傷つけますので使用しないでください。

① 便器の外面は水ぶきする

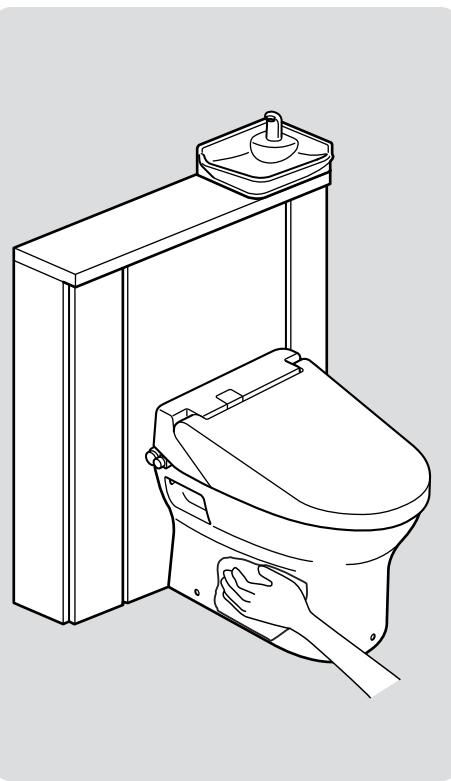
- 洗剤使用後は水ぶきを行ってください。

② 便器用洗剤がウォシュレット、すっきりパネル（壁排水タイプのみ）に付着したときは…

- やわらかい布で水ぶきしてください。（プラスチックの割れや変色の原因になることがあります。）

③ ウォシュレット、すっきりパネル（壁排水タイプのみ）のお手入れ

- ウォシュレット、すっきりパネルのお手入れをするときには、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用してください。次のものは使用しないよう、ご注意ください。（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、およびクレンザー、ナイロンたわしなど）



④ ヒーター付便器のときは…

- 便器にはヒーターを組込んでいますので便器や床に水をかけないでください。また、小便などが便器から飛び散ったときは、すぐにふき取ってください。

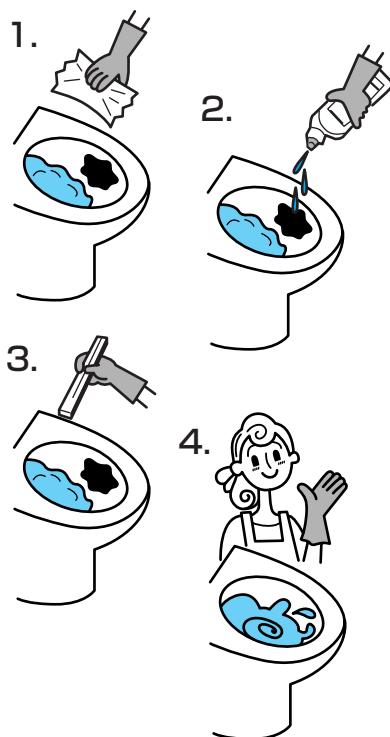
⑤ 便器内を洗剤でお手入れするときは…

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目（3分以内）に洗い流すとともに、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。（トイレ用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。）

⑥日頃のお手入れ

トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。日頃からこまめにお手入れをしてください。また、セフィオンテクト品は汚れがつきにくい特長を持っていますが、表面をきれいに保つために、日頃のお手入れが大切です。

便器のお手入れ



●ちょっとした汚れの場合

掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

●水あかなどしつこい汚れの場合

1. 汚れがついた部分の水分をふき取ってください。
2. TOTOトイレのクリーナー陶器用（品番：ENL400）などのトイレ用洗剤を汚れに直接かけてください。
3. 掃除用ブラシやスポンジで、こすり洗いをしてください。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。
4. 最後に水洗いをしてください。

●吐水口まわりが汚れた場合

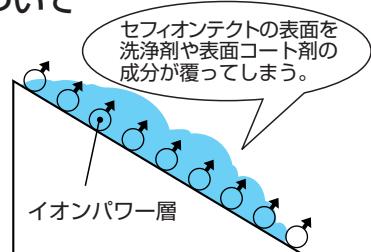
使い古しの子供用歯ブラシなどでお掃除してください。

ワンポイントアドバイス

●トイレ用芳香洗浄剤や表面コート剤について

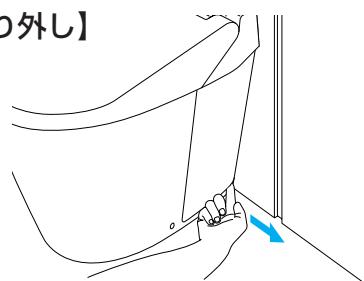
トイレ用芳香洗浄剤や表面コート剤はおすすめできません。

セフィオンテクトの場合、陶器表面を傷つけることはありませんが、洗浄剤成分やコート剤成分が表面を覆ってしまい。セフィオンテクトの効果が十分発揮できなくなるおそれがあります。



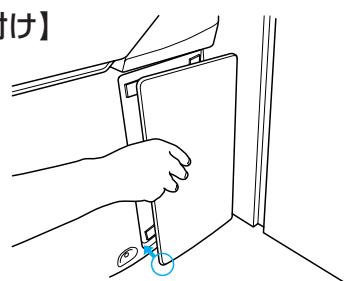
③すっきりパネル（壁排水タイプのみ）の取り外し、および取り付け

【取り外し】



すっきりパネルの後方下端に指をかけ、手前に引いて取り外す。

【取り付け】



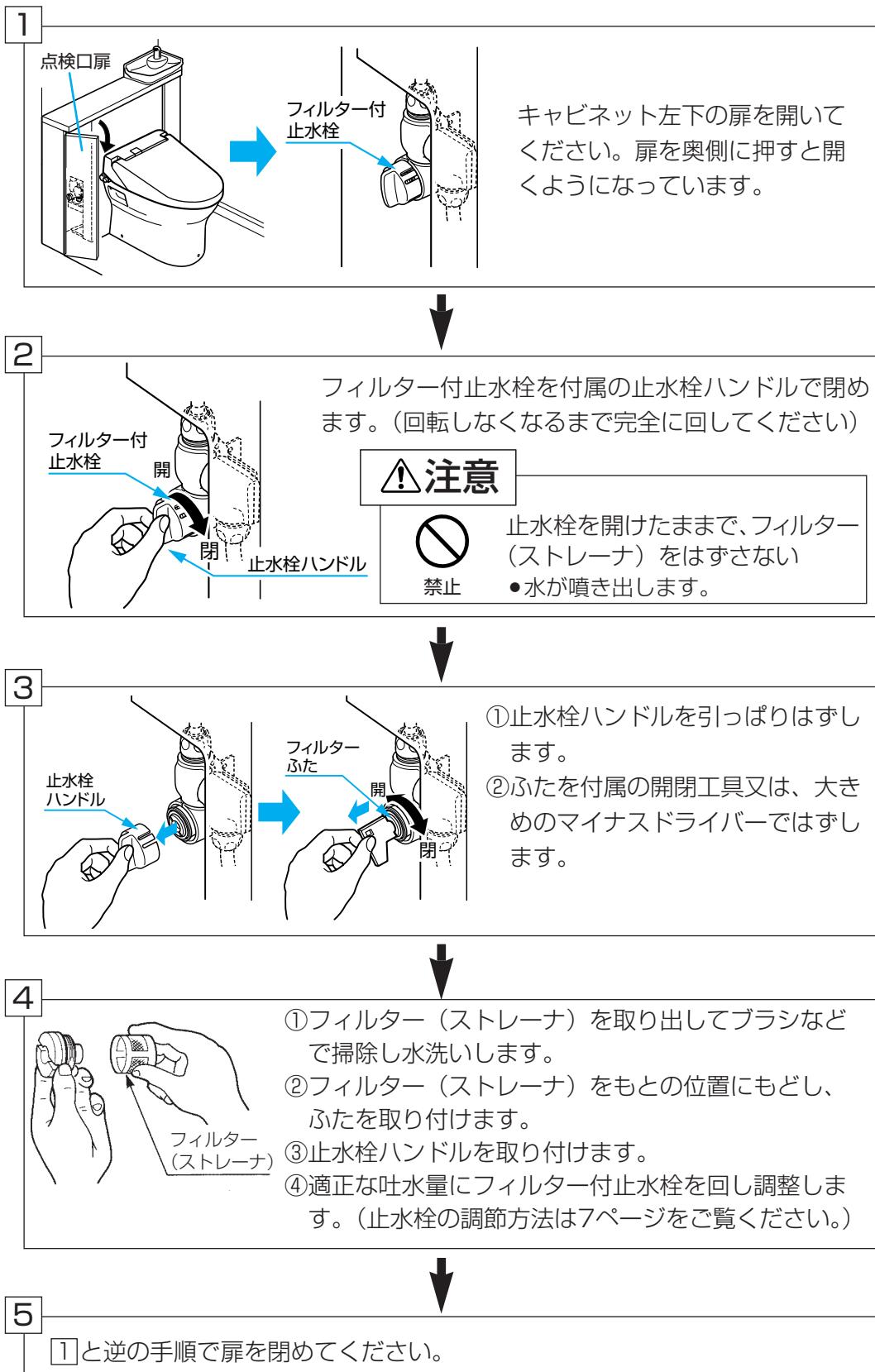
すっきりパネルの前方下端を基準にして、便器に取り付ける。

④ フィルター（ストレーナ）の掃除

フィルター（ストレーナ）が詰まると、タンクへ水を溜める時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。

その際は、次の要領でフィルター（ストレーナ）の掃除を行ってください。

フィルター（ストレーナ）の掃除手順



⑤ 水栓のお手入れ

布を使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、
スパウトおよびセンサー部の汚れをふき取ってください。



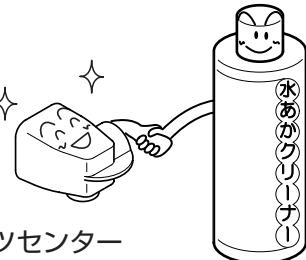
●ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、
水ぶきしてください。

TOTO水あかクリーナーでの手入れ

スパウトの表面に付着した水あかなどの汚れ落としには、
スパウトに傷をつけずに汚れを効果的に除去できるTOTO
水あかクリーナーのご使用をお勧めします。

お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOバーツセンター
(電話番号は裏表紙を参照ください) にお尋ねください。



品番：TH735

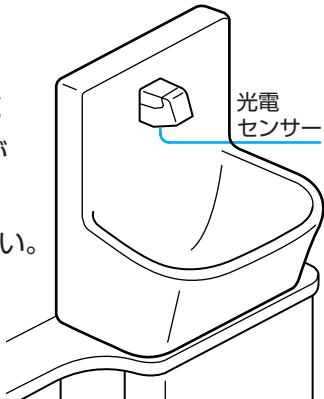
希望小売価格：1,100円/個（税込1,155円/個）

容量：260g

※仕様・価格は改定する場合がありますのでご了承ください。

光電センサーの手入れ

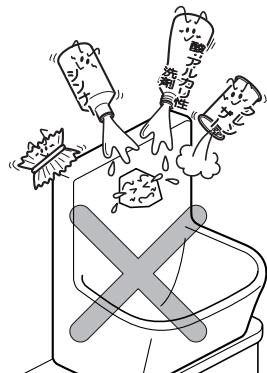
センサー部のお手入れは、6ヶ月に一度、定期的に実施
してください。また、お手入れの際はセンサー面に傷が
つかないように注意してください。
電気製品ですので、センサー部に水をかけないでください。



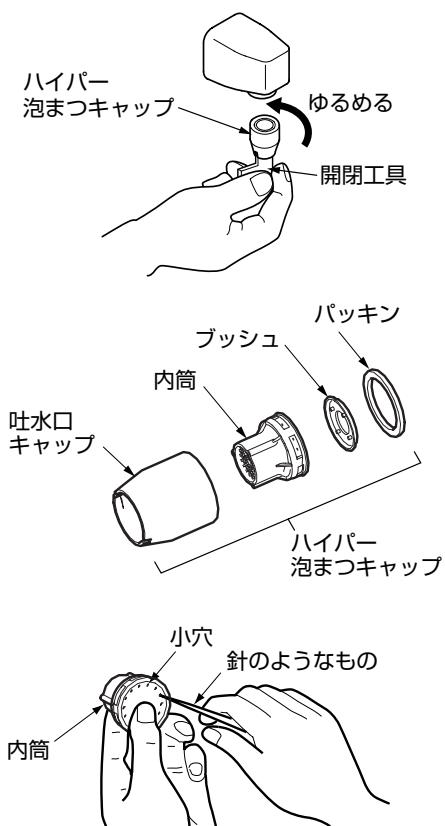
お願い

スパウトの表面を傷つけるものは
使用しないでください。

- TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、
塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を
含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど



ハイパー泡まつキャップのお手入れ



⚠ 注意



パッキンは必ず吐水口キャップ内の溝に挿入する
・水漏れの原因になります。

1. 止水栓を止水栓ハンドルで閉める。

2. ハイパー泡まつキャップを付属の開閉工具で外す。

泡まつキャップを外す際に、開閉工具にてセンサー面を傷つけないようにご注意ください。

3. パッキンを先端の細い針金などで取り外す。

4. ブッシュ(白色)を取り外し、内筒を取り出す。

5. 内筒の小穴にごみなどがないか確認する。

6. ごみなどが小穴を塞いでいる場合は、針のような先端の尖ったもので取り除く。

7. ハイパー泡まつキャップに内筒・ブッシュ・パッキンの順に入れ、取り付ける。

泡まつキャップは手で締め付け、固くなった位置から約90°開閉工具で締め付けてください。

⑥ ヒーター用プラグのお手入れ(寒冷地(水抜方式)の場合)

⚠ 警告



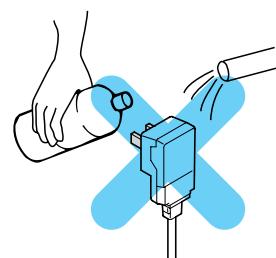
必ずセンコントより抜いてから行う
・感電の原因になります。

●水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってふきとり、そのあと必ず乾いた布で水気をふきとってください。

⚠ 警告

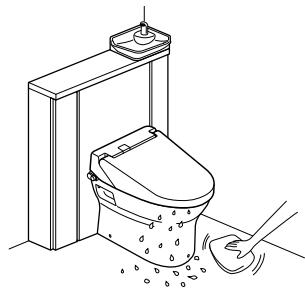


水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤およびシンナーなどは使用しない
・火災や感電、故障(損傷)の原因になります。



⑦ 床のお手入れ

- 便器から飛び出した小便や器具について
露が床に落ちたときは、よく絞ったぞう
きんでふき取ってください。
- お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく
絞ったぞうきんでふき取ってください。



ご注意ください！



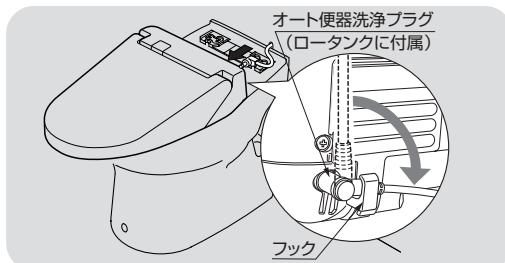
床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんで
ふき取ってください。

必ず守る 放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。

⑧ 大便器とウォシュレットのすき間のお手入れ

ウォシュレットは大便器から引き出してお手入れできます。取り外し方は

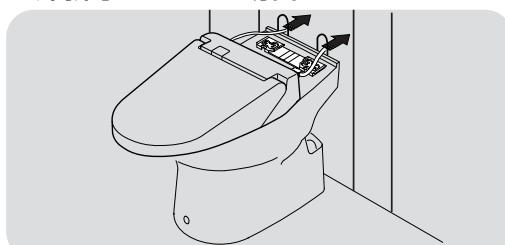
👉「レストパルSX用ウォシュレット」取扱説明書内 **お手入れのしかた** をご覧ください。
引き出したコード、ホースをキャビネットの中に収める際には以下の点にご注意ください。



① オート便器洗浄プラグの接続

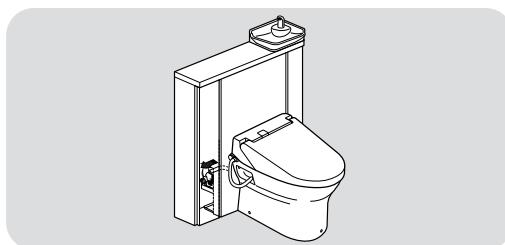
ロータンクに組み込まれているオート便器洗浄プラグは、ウォシュレット背面の接続口に左図点線の位置より差し込み、矢印の方向に回転させながらフックに掛ける。
差し込むのを忘れるとオート便器洗浄・リモコン便器洗浄ができなくなります。

<床排水タイプの場合>



② コードをおさめる

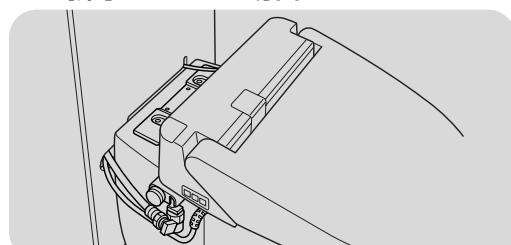
キャビネット左下の扉を開けコードを前板の切り欠き部よりキャビネット内部に引き込み少しずつおさめてください。(扉は押すと開きます)



③ ホースをおさめる

ホースが折れないように注意しながらたるまない程度にキャビネットの中に引き込んでおさめる。

<壁排水タイプの場合>



② コード、ホースをおさめる

コード、ホースをたるまない程度に前板左側の切り欠き部よりキャビネット内部に引き込んでおさめる。
(ホースが折れないように注意する)

⚠ 注意

連結ホースを折り曲げたり、
つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



7

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

凍結による破損の予防

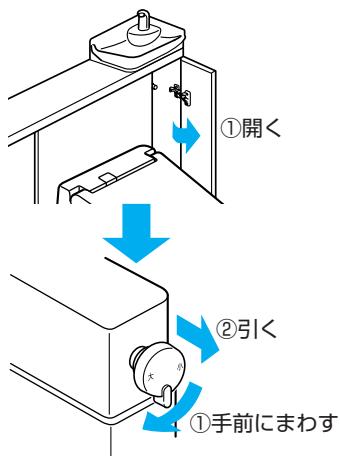
- ◎ 製品が凍結すると機器が破損し水漏れの原因となります。
- ◎ 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ◎ なお、暖房ができない場合は、次の通りです。

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内を暖めるか、できないときは、水抜きを行なってください。

〈大便器ロータンク部〉

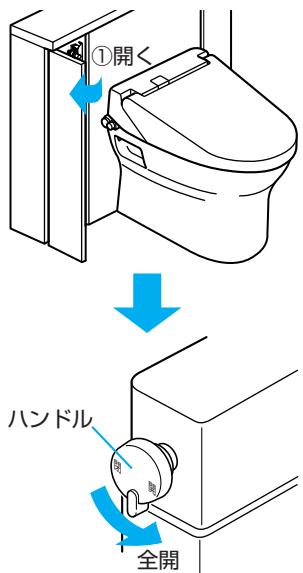
■ 水抜方式の場合

ヒーター用プラグをコンセントに差し込んでください。



- ① キャビネット右上扉を開ける。
(扉を押すと開きます)
- ② 手動式レバーを手前側（矢印の方向）いっぱいに回したまま外側に引く（レバーがロックされます）。その後水抜栓を操作して水を抜く。
- ③ 再び使用する前には手動レバーを内側に押し込んで下向きにし、水抜栓を操作して通水状態にする。

■ 流動方式の場合



- ① キャビネット左上の扉を開ける。
- ② タンク左横に取付けてある流動金具のハンドルを全開にする。
- ③ 便ふたを閉めておく。
※便ふたを閉めない場合、便器に氷がはり、1回の洗浄で氷が流れいかない場合があります。

- この便器の凍結予防限界温度は、【水抜方式（室内暖房併用）：0°C、水抜方式（ヒーター付便器併用）：-15°C、流動方式：-10°C】です。限界温度以下になる場合は、暖房などにより限界温度以上の室温に保ってください。